

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)				区分	
8	市民の「安心・安全」を確保するための検査機能維持・強化事業(保健科学検査事業、生活科学検査事業、環境調査分析事業)			新規	拡大 <b>継続</b>
会計区分	款	項	目	所管	
一般会計	4	1	4	保健福祉局 健康科学研究センター 保健科学課、生活科学課、環境科学課	
事務事業の位置付け					
しあわせ倍增プラン2009	番号		事業名		
総合振興計画新実施計画	事業コード	2601	事業名	食の安全確保対策事業	
根拠法令等		食品衛生法、感染症法、大気汚染防止法 など			
予算要求事業の概要					
内容	<p>新型インフルエンザや中国冷凍餃子事件をはじめとして、食や健康に直接影響する事案が発生し、健康危機事例に対する検査体制の確立は、市民の「健康・安全・安心」確保に必要不可欠となっており、また、検査技術の高度化に伴う検査の性能維持、向上が必須となっております。健康科学研究センターの検査機器は、保健所検査課、環境対策課から引き継いだ機器及び施設開所に併せて整備したものを保有しております。今後、これら検査機器の更新時期が重なることから、更新経費を平準化した検査機器等更新整備計画を作成し、検査に必要な機器の更新を円滑に行うものです。</p>				
目的・目標	<p>&lt;目的&gt; 健康科学研究センターは、市民の「健康・安全・安心」を確保するため、保有する検査機器を更新整備計画に基づき更新・整備を円滑に進めるものです。</p> <p>&lt;目標(平成21年度～26年度末)&gt; 検査機器等更新整備計画に基づき、順次、検査機器の更新・整備を進めます。</p>				
現状と課題	<p>&lt;現状(平成21年度末見込み)&gt; 食品中の残留農薬等に使用する精密機器を中心に更新・整備をいたしました。</p> <p>&lt;課題&gt; 検査機器の更新・整備が進まなかった場合、保健衛生を科学的・技術的な中核機関として関係部局、保健所、医療機関等を支援することができなくなり、本市の保健・環境行政の対策に大きく支障をきたします。</p>				
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度 食品添加物の測定に使用する精密検査機器等の更新・整備</li> <li>平成23年度～ 機器更新整備計画の見直し検査機器の更新・整備</li> </ul>				

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考	
平成21年度	当初予算	16,900	<積算内訳> 1 保健科学検査事業検査機器の更新・整備(保健科学課) 2,400 2 生活科学検査事業検査機器の更新・整備(生活科学課) 13,000 3 環境調査分析事業検査機器の更新・整備(環境科学課) 1,500
	財源内訳 一般財源	16,900	
平成22年度	当初予算要求	14,534	<積算内訳> 1 保健科学検査事業検査機器の更新・整備(保健科学課) 508 2 生活科学検査事業検査機器の更新・整備(生活科学課) 12,090 3 環境調査分析事業検査機器の更新・整備(環境科学課) 1,936
	財源内訳 一般財源	14,534	<要求理由> 検査の高度化に伴う検査機能の維持・強化を図るため、検査機器の更新・整備に要する経費を要求したものです。
	財政局長査定	14,534	<査定内容> 1 保健科学検査事業検査機器の更新・整備(保健科学課) 508 2 生活科学検査事業検査機器の更新・整備(生活科学課) 12,090 3 環境調査分析事業検査機器の更新・整備(環境科学課) 1,936
財源内訳 一般財源	14,534	<査定理由> 内容及び積算を確認し、適正であると認められるため要求のとおりとしました。	
市長査定	14,534	<査定内容> 同上	
財源内訳 一般財源	14,534	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	